

欧州における次世代 SDN・NFV・IoT の研究開発に係る 産業界の動向（概要）

平成 28 年 3 月

国立研究開発法人 情報通信研究機構
(欧州連携センター)

エリクソン

- ・ スウェーデンに本拠地を置き、欧州を代表する IT 機器ベンダであるエリクソン社は、「ネットワーク化社会 (Networked Society)」という将来的な社会ビジョンを持ち、このビジョンに沿う仕方で、SDN (Soft-Defined Network) と NFV (Network Function Virtualization) の研究開発を積極的に実施し、製品化を行っている。
- ・ エリクソン社は、2012 年に「サービスプロバイダ SDN」という SDN 戦略を発表している。エリクソン社が考える SDN の最大の利点は、「敏捷性 (agility)」である。
- ・ エリクソン社は、SDN コントローラーを「オープンデイライト (Opendaylight)」のオープンソースプラットフォームを基礎に構築し、3つの商用アプリケーションを提供している (サービス SDN、クラウド SDN、トランスポート SDN)。
- ・ エリクソン社は、SDN 及び NFV 技術を自社で開発すると同時に、コーディネーターとして、EU プロジェクトの UNIFY プロジェクト (通信事業者のクラウドと通信網の融合) と 5Gex プロジェクト (複数のプロバイダが提携してサービスを提供できる環境の開発) を主導し、通信事業者、公的研究機関などと提携して、研究を実施している。
- ・ 2015 年 11 月、エリクソン社は、シスコ社 (米) とネットワーク分野で、包括的なビジネス・技術パートナーシップを締結したことを発表している。

ノキア / アルカテル・ルーセント

- ・ フィンランドに本拠地を置くノキア社は、2016 年 1 月に、アルカテル・ルーセント社 (仏) の買収手続きを終了させ、大きく事業を拡大させている。この合併によって、ノキア社はアルカテル・ルーセント社の傘下にあったベル研究所 (Bell Labs) と SDN 事業のニューアージュネットワーク社 (Nuage Networks) を有している。
- ・ ノキア社の将来的なネットワークビジョンは、5G、SDN、NFV、IoT と強く結びつき、「プログラマブルワールド (Programmable world)」という言葉に集約される。その上、プログラマブルワールドというビジョンは、ビッグデータ分析の利用も含み、ノキア社は、通信事業者が持つ顧客の膨大なデータをビッグデータによって分析するサービスを提供する。
- ・ ノキア社は、プログラマブルワールドの実現のため、「エアフレーム (AirFrame)」と呼ばれるクラウドサーバを自社で開発している。エアフレームは、クラウドベースの無線アクセス網である CRAN (Cloud Radio Access Network) に対応する。
- ・ アルカテル・ルーセント社は、2012 年に、IP ルーティング製品事業部門の完全子会社として、SDN ソリューションに焦点を置くニューアージュネットワークスを設立している。アルカテル・ルーセント社およびニューアージュネットワーク社の SDN 製品、例えば、「クラウドバンド (CloudBand)」や「ニューアージュ仮想化サービスプラットフォーム (Nuage Virtualized Services platform)」は、ノキア社との合併によって、現在ノキア社の製品となっている。